



題 字 和 泉 哲 章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立白南中学校長)

NO. 7 令和6年7月11日(水)
発行 新潟県NIE推進協議会事務局



Newspaper in Education

NIEとNIB

新潟日報社 常務取締役CMO 石山 真

今年の2月で新潟県NIE推進協議会は発足して30年を迎えました。この間、協議会はNIE実践・研究委嘱校を毎年指定し、新聞記事を使って子どもたちが考えを深めたり、興味や関心を広げたりする授業を後押ししてきました。最近ではICTを活用した教育が各学校で取り入れられていますが、NIE活動も新たな対応で取り組み始めたところです。また、NIEの授業方法を助言する教員のアドバイザーや若手教員を中心にした県独自に設けたリーダーも充実し、推進体制を確立してきました。特に「新潟方式」と呼ばれる県と新潟市の教育委員会、小中高の校長会、大学と新聞社、通信社が一体となって推進する体制は他県でも大いに参考になっているようです。



今更言うまでもありませんが、NIE活動がもたらす効果は学力の向上だけではなく、世の中の出来事に対し、当事者意識を持って考え、行動する力を育む「主権者教育」が現在注目されていますが、新聞を通じて地域社会や国際情勢に関心を持つことで、子どもたちは広い視野を持つようになります。また、新聞を読む習慣が身につくことで、情報を正確に判断し、自らの判断基準を確立する力が養われます。NIEは単に学業成績の向上に留まらず、将来的なキャリア形成や社会人としての成長に大きく寄与するものと考えています。

一方でNIB(Newspaper In Business)をご存じでしょうか。これは企業や自治体等の組織が様々な研修やスキルアップ講座等で新聞を活用する取り組みの事ですが、読解力、発想力、コミュニケーション力、課題発見力や書く力を高めていく活動です。NIEとNIBは一見異なる領域の活動のように思われますが、実は深い関連性があります。NIE活動を通じて育まれた批判的思考力や情報リテラシーは将来的にビジネスの場においても大いに役立つスキルです。つまりNIEで培われた能力はNIBにおける情報収集や分析、意思決定においても重要な役割を果たすような気がします。フェイクニュースの問題が毎日のように話題になりますが、信頼できる情報源から必要な情報を効率的に収集し、自らの判断に役立てる力はあらゆる職業において必要とされる能力だと思います。(ただNIB活動はNIEの「新潟方式」とは違い、個別の新聞社によって様々な取り組みがされています。QRコードは新潟日報NIB講座の紹介動画です。)



いずれにしても新潟県NIE推進協議会が30年間に渡って続けてきた活動は教育現場に留まらず、少なからず社会全体の発展に寄与し、新たな未来と価値を創造する人材を育てることにつながってきたと確信しております。これまでの多くの関係者のご尽力に感謝しつつ、今後も新潟県NIE推進協議会の活動がさらに充実し、活発に行われることで、子どもたちの可能性が大きく広がっていくことを期待します。

GIGAスクール・NIE実践化の取組

～令和6（2024）年度 第1回 情報交換会～

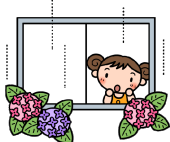


6月11日午後、メディアシップ日報ホールで「2024年度第1回情報交換会」を開催しました。新潟県教育委員会佐野哲郎教育長、新潟市教育委員会夏目久義教育長をはじめ、行政や学校の教育関係者、新聞・通信社の代表者ら約60名が参加してくださいました。全体での情報交換のテーマは「GIGAスクール・NIE実践化の取り組み」でした。

た。新潟市立松浜小学校の加藤雅晃教諭と出雲崎町立出雲崎中学校の佐藤登校長のお2人から、昨年度まで実践・研究委嘱校として取り組んできた実践をもとに発表していただきました。紙の新聞のもつよさである「一覧性」「信頼性」「網羅性」があらためて話題になりました。そして、複数の記事を比較検討する際の資料探しに用いるデータベースの活用等、お2人の発表をもとに、活発な意見交換が行われました。

NIEの実践より ～実践・研究委嘱校の取組より～

ある実践・研究委嘱校が「新聞の基礎理解」のために、「新聞の読み方」「新聞の作り方」についてを、新聞社の方を講師として依頼し、職員研修を実施しました。研修終了後のアンケートに、以下のような記載がありました。



「意見を持ち、事実を伝える」ということが、とても参考になりました。壁新聞づくりで、子どもたちにリード文の書き方、見出しの付け方を指導することがありましたが、上手く伝えることができませんでした。自分の気持ちや意見をもとに事実を選ぶ作業が重要だったと学びました。（新聞記事の特徴である「何がどうした」の次にあたる）「それがどうした」の部分を考える必要性を子どもたちに伝えたいです。

見出しは、究極の要約であるという話がとてもしっくりきました。確かに注意して記事を見てみると、パッと見て分かる見出しになっていると思います。見出しがタイトルと違うということを、生徒会の新聞でとてもよく理解できました。

実践・研究委嘱校等に限らず、このような感想をもつことができる校内研修を実施した

いという研究主任さん、学年主任さんは、是非「新潟県NIE推進協議会」のHPからお申し込みください。

～思考力・判断力・表現力を確実に高める～

第31回「NIE新聞記事感想文コンクール」作品募集！

新潟県NIE推進協議会では、今年度も小学校、中学校、中高一貫教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象に、新聞にちなんだ感想文を募集しています。新聞記事を読んで、記事を選んだ理由や記事から考えさせられたこと、記事と自分の経験とのかかわりなど、これからの生活などについて書いてください。字数は600字～800字までです。**応募〆切は9月4日（水）事務局（宇ノ井）必着。**詳しい内容や用紙は**新潟県NIE推進協議会のHPで確認**してください。夏休みの自主課題等に取り入れていただけたら幸いです。学年や学校まとまっの応募等、たくさんのご応募をお待ちしています！

北信越ブロック NIEアドバイザー・NIE推進協議会事務局長会議 より

7月2日(火) 信濃毎日新聞社や長野市立山王小学校を会場に、北信越ブロック NIE アドバイザー・NIE 推進協議会事務局長会議が行われました。前回の2年前は、新潟県 NIE 推進協議会がホストとなり、浜浦小学校を会場として実施した会議です。

本県からは、事務局長の宇ノ井と新潟日報社未来読者推進室山田室長が参加しました。山王小学校6学年社会「災害復興の願いを実現する政治」の授業を参観し、その後の協議会で意見交換を行いました。

日本新聞協会の NIE コーディネーターである関口修司氏は、「これからも NIE のための社会科ではなく、社会科のための NIE と考えて取り組んでいきましょう。」と、本時授業を通してあらためてお話をされました。

授業で学ぶ - 2024年 新潟県NIE実践・研究委嘱校 -

<継続校 (2023・2024 年度)>

	校 長	NIE担当者	研究会 (授業公開)
糸魚川市立田沢小学校	杉田 卓裕	早川 尚美	11月29日 (金)
佐渡市立小木小学校	高橋 高志	渡邊あずさ	11月22日 (金)
新潟市立金津小学校	渡邊 敏尚	江部 壮彦	11月21日 (木)
阿賀野市立笹神中学校	村上 敏樹	石田 溪介	11月26日 (火)
新潟市立五十嵐中学校	斎藤 伸	内山雄太郎	11月19日 (火)
新潟県立糸魚川高等学校	須戸 修	松田 彰英	12月17日 (火)

<新規校 (2024・2025 年度)>

	校 長	NIE 担当者	授業研修会
見附市立葛巻小学校	白井 敦	金子 剛志	12月10日 (火)
聖籠町立蓮野小学校	藤井 政明	高橋亜由美	12月 5日 (木)
新潟市立南万代小学校	平山 誠	渡邊 裕子	12月18日 (水)
上越市立中郷中学校	山岸 賢一	小林 保子	12月 2日 (月)
新潟市立大形中学校	後野 孝仁	鈴木 昌子	11月20日 (水)
新潟県立中条高等学校	横堀 正晴	杉下 英倫	11月 6日 (水)

新潟県NIEを牽引する方々

<NIEマイスター>

津野庄一郎 関川村教育委員会 教育長

<NIEアドバイザー> 日本新聞協会認定

山之内 朋子	柏崎市立比角小学校 教頭
泉 実	上越市立浦川原小学校 校長
柳澤 淳	上越市立雄志中学校 教頭
岡村 範雄	上越市立城東中学校 教諭
柳澤 一輝	新潟県教育委員会義務教育課 管理主事
井上 北斗	燕市立燕中学校 教諭
若林 靖人	小千谷市立小千谷中学校 校長
関 慎太郎	新発田市立豊浦小学校 教頭
高澤 元	新発田市立御免町小学校 教諭
海老名 崇	新発田市立第一中学校 教諭



小池満喜子	下越教育事務所学校支援第二課 指導主事
猪股 快門	佐渡市立行谷小学校 教頭
古井丸裕三	新潟市立曾根小学校 校長
生田 恵子	新潟市立東青山小学校 教頭
牛腸 昌克	新潟市立大鷲小学校 教頭
中村 康	新潟市立両川小学校 教諭
山本 達也	新潟大学附属新潟中学校 校長
蟻塚 宰子	新潟県立新発田商業高等学校 教諭
押木 和子	新潟県立三条高等学校 教諭
早川 勝志	新潟県立翠江高等学校 校長



＜N I Eリーダー＞（旧実践委研究嘱校 NIE 担当者）

落合 悠太	新潟市立女池小学校 教諭
小黒 淳一	佐渡市立両津中学校 教諭
星野 敬子	新発田市立東小学校 教諭
堀川瑛里那	糸魚川市立糸魚川小学校 教諭
鈴木 真衣	聖籠町立山倉小学校 教諭
高橋 健一	新潟市立桜が丘小学校 主幹教諭
五島 拓	新潟第一高等学校 教諭
小沢 優貴	柏崎市立南中学校 教諭
坂井 一	長岡市立岡南小学校 教頭
久保田ひとみ	出雲崎町立出雲崎中学校 教諭
加藤 雅晃	新潟市立松浜小学校 教諭
新野 真希	胎内市立胎内小学校 教諭



特色ある実践 - 新潟市 N I E 推進校（2024） -

新潟市は「未来の新潟を担う子供たちが、活字に慣れ親しみ、現実と学びを結ぶ新聞を活用した学習を通して、確かな学力を身に付けるよう NIE を推進する」という趣旨のもと、今年度も下記の 16 校（校長） を独自に NIE 推進校に指定し、活動を展開することになっています。

北 区 太夫浜小学校（中村 香）	松浜中学校（南 幸彦）
東 区 中野山小学校（増井 一久）	石山中学校（眞田 和徳）
東特別支援学校（阿部 隆一）	
中央区 上山小学校（中谷 記子）	寄居中学校（山田 聡）
江南区 早通小学校（岡田 義則）	両川中学校（伊藤 裕之）
秋葉区 新津第二小学校（風間 健二）	金津中学校（武樋 伸明）
南 区 小林小学校（中川 日里）	白南中学校（和泉 哲章）
西 区 新通小学校（浅野 秀之）	小新中学校（保科 賢一郎）
西蒲区 中之口西小学校（石山 博之）	

＜編集後記＞

胸ポケットのスマホは、いつでも即時的に私たちに情報を提供してくれる。しかし、その内容は、独善的なものも含まれ真偽の程は不明確である。毎朝の新聞が、私の日常には欠かせない。新聞には、記者の皆さんが裏付けを確認した事実が記載されている。その信頼が、読者である私に安心感を与えてくれる。

新潟大学養護教諭特別別科の授業では、健康に関する新聞スクラップをもとに、現代社会の諸問題に対する自分の見方や考え方などを発表し合っている。信頼できる事実に基づいた記事に触れ、アウトプットする過程も含めて、事実と意見を明確にしながら言語感覚に磨きを掛けてほしいと願っている。NIE の果たす役割は大きい。（事務局長：宇ノ井修二）